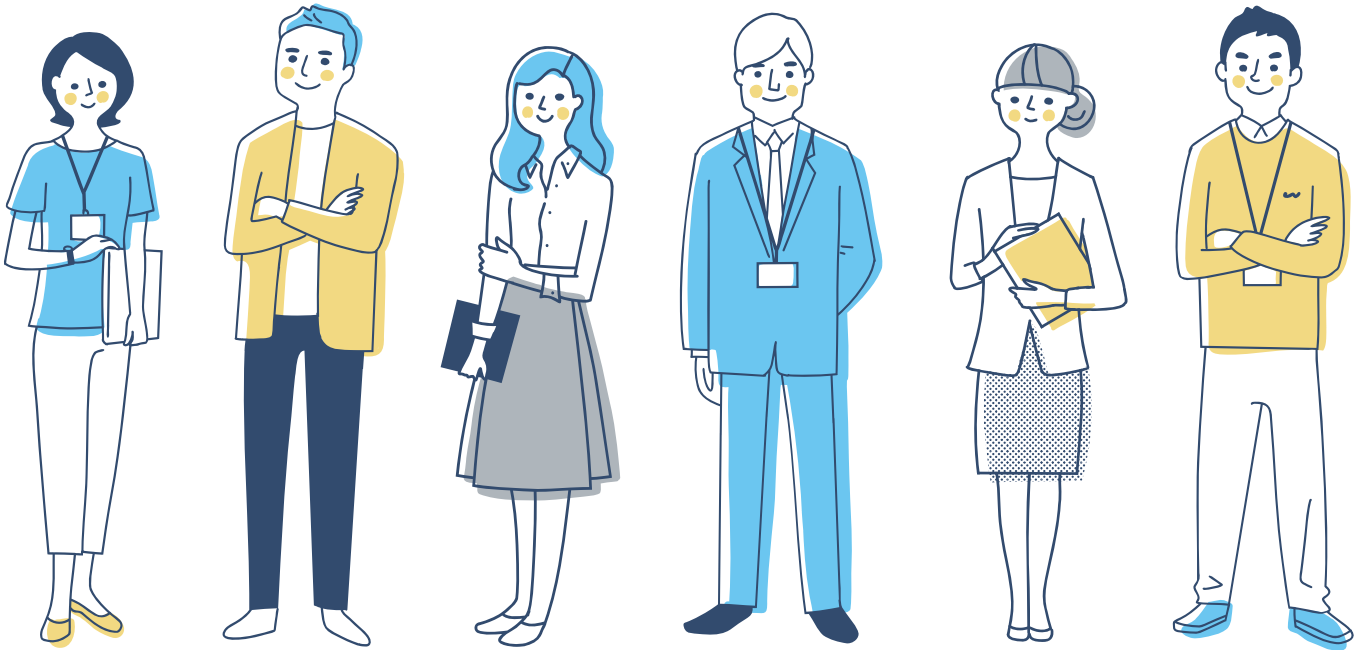


玉川大学教職大学院には、

教育現場の課題に 応える学びがある！



日々の授業で感じた疑問や課題を、そのままにいませんか？

玉川大学教職大学院では

それらを理論的に考察し、解決策を探る場を提供します。

経験豊富な教員陣による丁寧な指導のもと

理論と実践が交差することで、

変化の激しい現代社会に対応できる

柔軟で実践的な教師を育成します。

玉川大学教職大学院

説明会

(対面およびオンライン)

個別相談会

対面およびオンラインの説明会を実施しています。日程など詳細はHPをご確認ください。また、個別相談会も受け付けていますので、お気軽にお問合せください。



Forward-thinking Educator: Advanced

全人教育を担い、教育界を切り拓いていく

今日の教育現場を把握・分析するための理論と、
課題解決を推し進めることのできる
スクールリーダー、行政職、管理職を育成します。

さまざまな情報が錯綜する今日の高度情報化社会は時代や社会を日々変化させています。
この変化は学校教育においても同様です。教員の使命も子供たちに知識を教授することに加え、高学歴化した保護者、地域コミュニティなどからの要求(Demand)に応えることにまで拡大しています。常に変化の伴う今日の教育現場において必要とされるのは、問題意識を抱き、高度な専門的能力および優れた資質を有する"高度専門職業人としての教員"に他なりません。教職大学院では今日の教育現場に現状を把握・分析するための理論と課題解決を推し進めることのできる"School Leadership"を兼ね備えた教員を育成します。

あなたのニーズに応じる学修プログラム

	大学院1年生	大学院2年生
標準履修(2年課程)	実習	学校課題研究
短期履修(1年課程)	学校課題研究	実習

※概ね10年の教職経験により、教育実習を10単位もしくは8単位免除することができます。



理論に裏打ちされた【確かな実践力】を育てるカリキュラム

必修 基本科目群 10科目20単位

教育課程編成の研究と実践	教育相談と特別支援教育の実践と課題
授業デザインの研究と実践	学級経営の実践と課題
教科教育の研究と実践	学校経営の研究と実践
教育方法の研究と実践	学校の社会的役割と教員の服務
生徒指導と特別活動の実践と課題	教員の在り方と資質の向上

必修 学校における実習 1科目10単位

以下選択科目

教職専門実習A(10単位)	学校実践研究(2単位)
教職専門実習B(8単位)	教育実践研究(基礎)
教職専門実習C(2単位)	教育実践研究(応用)

※教職経験により、10単位または8単位を免除することができます。

選択 発展科目群 6科目 12単位以上

指導が難しい子供への支援コース <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の理論と教育 ○教育相談の理論と実践 ●発達障害の理論と課題 ●発達障害の現状と課題 ○特別支援教育と医療 ●学校カウンセリングの技法 	教育経営コース <ul style="list-style-type: none"> ○公教育と学校組織 ●学校評価と学校づくり ○学校経営と教育行財政 ●教育法規の理論と実践 ○教育課程経営の理論と実践
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



4コースのうち1コースを選択すること ○印はコースの必須項目

心の教育実践コース <ul style="list-style-type: none"> ●道徳授業の研究と実践 ○心の教育と道徳教育 ○心の教育実践研究 ●脳科学と教育 ○生徒指導の理論と実践 ●ファシリテーターとしての教師の技術と実践A ●ファシリテーターとしての教師の技術と実践B 	教育実践・教材開発コース <ul style="list-style-type: none"> ○教材開発と授業実践 ○コンピュータと教育 ○教科学習の研究と実践 ●児童英語の実践 ●国語科学習デザイン研究 ●算数・数学科学習デザイン研究 ●理科学習デザイン研究 ●社会科学習デザイン研究 ●外国語活動・英語科学習デザイン研究 ●美術科学習デザイン研究
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

必修 総合科目群 2科目4単位

全人教育の理論と実践 (1単位)
学校課題研究 (3単位) ※最終年度に通年で実施



グループ討議やワークショップ型の授業を通して、理論と実践の往還を目指します。学校課題研究は、実習や教職経験等で実感した教育課題を解決します。「IB(国際バカロレア)」や「学級ファシリテーター」の資格を得ることもできます。

総合学園ならではの充実した学修環境

一つのキャンパスで、幼稚園生から大学院生が学びます。
例えば、「全人教育の理論と実践」では、私学ならではのK-12のカリキュラム・マネジメントを学んだり、植物工場やメーカーズフロアなど学園内の教育資源を生かして学修します。
脳科学研究所やTAP(Tamagawa Adventure Program)センターに関連する授業もあります。



少人数だからこそその関係性

定員は20名です。少人数のメリットを活かし、複数の近隣自治体の現職院生、学卒院生、そして教員が、校種や教科、地域の壁を越えてアットホームな雰囲気の中で交流します。教員との距離も近く、何でも気軽に相談することができます。



あなたの【挑戦】に本気で向き合う教授陣

豊富な現場経験のある実務家教員と、学校を主なフィールドとする研究者教員が、指導を担当します。進路の悩みから学校経営・授業改善まで、データと経験に基づく丁寧な指導で、あなたの成長をナビゲートします。教員のプロフィールは上記QRコードからご確認ください。





現職教員への経済的支援

学業を進めるためには経済的負担が伴います。そこで、学業優先の視点から、必要な経費の一部を確保するための経済的援助があります。

大学院学生学会発表・参加旅費助成

学生が国内および国外の学会において自己の研究成果を公表することを奨励するため、その助成を行います。本学独自の制度です。

教育訓練給付制度(休職制度等を利用する方)

本教職大学院は、2年コースを対象に「教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座(専門実践教育訓練)」の指定を受けています(R8.4.1～R11.3.31)。休職等で入学する現職者は、給付条件を満たせば、ハローワークへ申請することで、最大80%の受講費用が支給されます。

学費等納入金

学費等は、派遣元の自治体の制度により異なります。各自治体にご確認下さい。また、各自治体の派遣制度についても、各自治体にお問い合わせください。例えば、東京都の制度は以下から確認できます。



修了生Interview



高杉 芳恵さん

現職1年課程

2021年度修了

これまでの教職経験を生かし、より高度な専門性や指導力を身に付けることを目指し学びを充実させました。講義は少人数形式で、意見を交換しやすい雰囲気の中、最新の教育理論や技術に関する知識を得ることができました。また、教授の先生方と学生の距離が近く、研究を進めていくうえでの方法や視点について親身にご指導いただくことができました。理論と実践、研究と学校現場をつなぐスクールリーダーとしての「教育のプロフェッショナル」を目指して学びを深めることができました。理論と実践、研究と学校現場をつなぐスクールリーダーとしての「教育のプロフェッショナル」を目指して学びを深めることができました。



木原智裕さん

現職1年課程

2022年度修了

学校現場で日々感じる「なぜ?」「もっとこうしたい!」という課題意識。それを教職大学院では、時間をかけて深く研究できます。自身の経験知に学術的な視点加わることで、課題解決への道筋が明確になりました。現場実践と研究を結びつけ、自校の教育改善に繋がられたのは大きな成果でした。これまでの実践経験を土台としながら、最新の教育理論や研究動向に基づいた指導を受けることで、自身の教育実践を客観的に評価し、改善する視点を得られました。経験だけに頼らない、根拠に基づいた指導力を身につけられたことは、今後の教員人生において大きな強みになっていると確信しています。



澁澤宏美さん

現職1年課程

2023年度修了

これまでの教職経験や社会的背景をふまえた上で、教育課題を的確に捉え、解決するための理論や技法を学ぶことができました。また、研究指導はほぼマンツーマン、講義も少人数制で個のニーズに対応した指導を受けることができました。さらに、「教育養成の玉川」としての伝統と実践を踏まえた教育を最大限に体感することができました。音楽教師としての経験から、大学生との第九合唱への出演につなげていただいたこと、国際パカレアコースを受講し教員資格を取得できたことも財産となりました。勤務する港区では教育課程特例校として国際理解教育を推進しており、教職大学院でのすべての学びが現在の指導主事の職務につながっています。



森 健司さん

現職2年課程

2021年度修了

休職による研修制度を利用して、2年課程で学んだ埼玉県の教員です。1年目は授業による新たな知見の獲得に集中し、通常の履修に加え、多くの授業を聴講しました。2年目はそれを土台に、学校課題研究に集中して取り組み、高度な専門性に加え、研究力を身につける教職大学院らしい学びが実現できました。このような学びは、2年間という時間と、教授とのマンツーマンに近い手厚い指導で可能になりました。私費での学修となりますが、玉川独自の奨学金の援助もあります。2年間での履修もお勧めです。

公式 SNS始めました。

教職大学院の最新の活動や入試情報を発信します!

Instagram ▶



X ▶



Facebook ▶



大学院に関するお問い合わせ・願書類の請求は下記まで

TEL 042-739-8155

〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1(入試広報部)

土曜・日曜・祝日及び下記の期間は休務となります。

8月24日～9月1日(夏期休暇) / 12月26日～1月5日(冬期休暇)

*その他、学園行事及び入試広報部諸行事で休務となることがあります。ご了承ください。

www.tamagawa.jp/graduate/